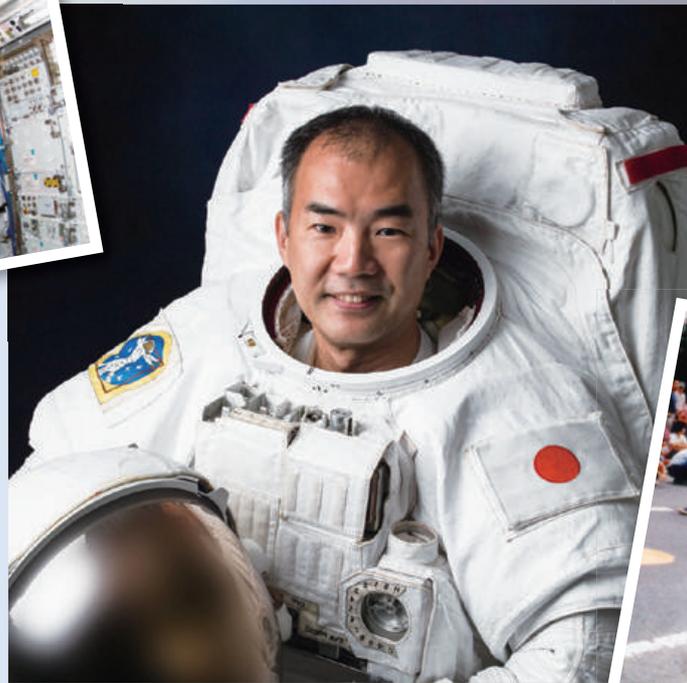


磯子区制90周年に寄せて 海輝き人も輝く未来の磯子 未来を開く磯子の子どもたちへ



画像提供：JAXA/NASA



画像提供：JAXA/NASA



横浜市のパレードにボーイスカウトの鼓笛隊として参加(小学6年生)
画像提供：JAXA

磯子区の皆さん、こんにちは！ JAXA宇宙飛行士の野口聡一です。

磯子区制90周年、まことにおめでとうございます。

私は小学校5年から6年にかけて、磯子区の汐見台小学校でお世話になりました。今から40年近く前のことですが、いまでも汐見台小の友達と過ごした楽しい時間はよく覚えています。また社会人になってからも、磯子区の臨海部にある(株)IHIの研究開発部門の皆様にお世話になり、エンジニアとして一緒に働く機会に恵まれました。

私は子供のころからの夢を叶えて2005年と2009年に宇宙に行くことができました。汐見台小学校の皆様を始め、磯子区の皆さんにも応援していただいて、本当に嬉しかったです。宇宙から磯子、横浜、そして神奈川県がとてもはっきりときれいに見えましたよ。それと同時に、この美しい自然をできるだけ長く私たちの手で守っていきたくて願いました。

皆さんも、いつか宇宙に行って美しい地球の姿を見られるといいですね。

皆さんの夢の実現と、磯子区の今後一層のご発展をお祈りします。

平成29年10月 宇宙飛行士 野口 聡一

Profile

1965(昭和40)年横浜生まれ。小学校5・6年時汐見台小学校に在学。東京大学大学院修士課程修了。1991(平成3)年石川島播磨重工業(株)(現IHI)入社。磯子区で勤務。1996(平成8)年NASDA(現JAXA)入社。2005(平成17)年スペースシャトル「ディスカバリー号」によるSTS-114ミッションに参加。2009(平成21)年ソユーズ宇宙船フライトエンジニアとして、ソユーズTMA-17宇宙船(21S)に搭乗。2012(平成24)年JAXA宇宙飛行士グループ長就任。2014(平成26)年宇宙探検家協会(Association of Space Explorers: ASE)会長就任。